



analytica China 2010

SEPTEMBER 15 - 17 | SHANGHAI NEW INTERNATIONAL EXPO CENTRE



Messe München
International

ファイナルレポート

第5回 国際分析技術・ラボテクノロジー・バイオテクノロジー

専門見本市・会議

2010年9月15日～17日

中国・上海新国際見本市会場

2010年9月20日

～過去最高の結果に！

中国市場をリードする見本市へと存在を強める～

Summary

- 出展・来場数ともに過去最高を記録
- 出展社からの高い満足度
- 中国国外からの来場者が増加
- 専門性の高い会議プログラムも大好評のうちに終了

Facts & Data



| | |
|--------------------------|---|
| 会 期 | 2010年9月15日(火)～17日(木) 午前9時～午後5時(最終日のみ午後4時まで) |
| 会 場 | 中国・上海新国際見本市会場 (Shanghai New International Expo Centre <SNIEC>) |
| 主 催 | Messe München International MMI (Shanghai) Co., Ltd. |
| 規 模 | 全2ホール 約23,000 m ² (2008年:全1.5ホール 約17,000 m ²) |
| 出 展 企 業 | 22ヶ国から468社 (2008年19ヶ国から342社) |
| 来 場 者 総 数 | 66ヶ国から15,282人 (2008年13,146人) |
| 専 門 分 野 | 分析・ラボ技術、品質管理、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、診断技術 |
| 主 な 出 展 品 | 分析・診断機器・処理・技術、クロマトグラフィ・分光分析、検査・測定・品質管理、情報・サービス、ラボ装置・機器・データシステム、試薬・化学製品、バイオテクノロジー |
| 出展日系企業 (現地支社・代理店出展含む) | アズワン(株)、(株)アルバック、アルバック機工(株)、京都電子工業(株)、(株)協同インターナショナル、(株)共立理化学研究所、倉敷紡績(株)、(株)サンプラテック、(株)資生堂、(株)島津製作所、ジャスコインターナショナル(株)、昭光通商(株)、昭和電工(株)、新光電子(株)、(株)大日本精機、東京理化学器械(株)、東ソー(株)、(社)日本分析機器工業会、日立工機(株)、(株)日立ハイテクノロジーズ、(株)堀場製作所、ヤマト科学(株)、理研計器(株)、(株)ワイエムシィ、和光純薬工業(株) (50音順) |
| 専 用 U R L | www.analytica-china.com (英語 / 中国語) |

2010年9月15日から17日に、中国・上海新国際見本市会場で開催された analyticaChina 2010 では、業界の予測をはるかに上回る 66 ヶ国から 15,282 人の来場者を迎えた。出展社数は前回に比べて 30%以上増の 22 カ国から 468 社で、その 40%が中国国外からの出展だった。また今回は、Beijing Titan GE Healthcare 社、Dionex 社、(株)堀場製作所、Siemens 社、Tecan 社など、新規の出展社も多かった。会場では展示の他、「analytica China Conference」、「中国・ドイツシンポジウム」、「タンパク質と疾病についての会議」を含む専門性の高いプログラムが開催された。



「短期間で analytica China は分析機器、ラボ・バイオ技術、診断分野において、中国エリアで最も重要なプラットフォームへと成長した。今回出展社が前回比 30%以上増えたが、これは 2002 年の初回開催以来最大の成長率だ。出展社数、来場者数の継続的な増加は、業界が中国市場の今、そして将来の可能性に大きな期待を寄せている表れだ」とメッセ・ミュンヘン・インターナショナル副 CEO のノルベルト・バークマンは今回の結果についてまとめている。

5 回目を迎えた analytica China には 3 日間で過去最高の 66 カ国から 15,282 人が来場し、最新製品やソリューション、業界動向などの情報を集めた。中でも環境保護のための最新の分析方法や技術、また食品や薬品の品質管理のための機器や技術が注目を集めた。今回初めて、第 10 回中国国際化学産業展(ICIF China)と併催したが、これにより来場者の幅が広がり、効果が高かったとみている。

出展社、来場者からの高い満足度

多くの出展社が、来場者数と来場者の質の高さに満足し、下記のようなコメントを残している。

Agilent Technologies (China)社の Jerry He 氏:「来場者数、来場者の質ともに予想をはるかに超える高さで非常に満足している。また既存のバイヤーだけでなく、多くのエンドユーザーが中国やその周辺諸国から来場し、当社にとって大きく前進できる結果となった」



ジャスコインターナショナル株式会社の高田和久氏:「真剣に製品を見に来ている質の高い来場者が非常に多く満足している。また、インドなど中国国外からの来場者が増えたのも、大きな利点だ」

Sigma-Aldrich (Shanghai) Trading 社の Wilson Wang 氏:「analytica China は、最新の製品や技術をターゲット層に確実に届けることができる最重要見本市だ」

IKA Works Guangzhou 社の Klaus Jacuk 氏:「analytica China は中国でのもっとも重要な業界の専門イベントで、今回の結果には大変満足している。来場者はディーラーとエンドユーザー、そしてメーカーすべてが揃っていて、多くの引き合いをいただいた。次回も必ず出展する」

Shanghai Henping Scientific Instrument 社の Sabrina Huang 氏:「会を重ねるごとに来場者が増え、最近では中国国外から中国の製品やパートナー企業を探す来場者も増え、当社にとって大きなチャンスだ」

また来場者側からも、業界をリードする企業が国内外から集まっているため、製品や技術、今後の動向などの最新情報を得ることができるという高い評価をいただいた。今回来場した Shandong Lioacheng Ehua Medicine 社の Zhang Kejun 氏は、「グローバル企業の出展が多く、世界の最新技術を一度に見ることができてとても効果的だった」と話している。

(*その他のコメントはこちらから<http://www.analyticachina.com/link/en/24080450#24080450%20>)

専門性の高い関連イベント

analytica China で毎回注目されるのは会議プログラムやイベントが充実していることで、今回これらのイベントに 1,528 人が参加した。

「analyticaChina Conference」では、50 人の著名な専門家が品質管理や環境保護のための分析技術、食品安全のための分析技術などについて講義した。一方、今回 2 回目の開催となった中国・ドイツシンポジウムでは、クロマトグラフィ、分離、サンプル分析分野における近年の発展について解説した。Proteome 研究分野の専門家はタンパク質と疾病についての会議に集い、医療研究における最新の技術やそのアプリケーションに焦点を当てたケーススタディを発表した。analytica China Conference の議長を務める中国化学学会の Wang Erkang(Dr.)氏は「会議の参加者は専門性が高く国際的な専門家ばかりだった。展示と科学的な専門会議を同時に開催することで、大きな相乗効果を生んでいる」と説明している。



次回 analytica China は 2012 年秋に上海新国際見本市会場で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.analyticachina.com まで。

次回予告

「analytica Vietnam 2011」 2011 年 4 月 7 日～9 日 於: ベトナム・ホーチミンシティ
www.analyticavietnam.com

「analytica-Anacon 2011」 2011 年 10 月 12 日～10 月 14 日 於: インド・ムンバイ
www.analytica-anacon.com

「analytica 2012」 2012 年 4 月 17 日～20 日 於: 新ミュンヘン国際見本市会場
www.analytica.de

資料請求、出展申込み、入場券購入、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KSビル 5F 在日ドイツ商工会議所内

Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.com (英語 / ドイツ語)